

ワイワイがやがや、仲間とともに作品作り

長寿大学では初めての体験ができます。それは、一人では出来ない体験。それが、長寿大学の魅力です。絵手紙、クラフトバンドによるかご作り、七宝焼き、そして、貝アート。新しいことにチャレンジして未来を楽しむ趣味を発見しませんか。

絵手紙

1年生は初めての絵手紙。ヘタでいい、ヘタがよい。中尾葉子先生にご指導いただきました。初挑戦ながら傑作？が並びました。



学年展示作品紹介

2年生は手編みかごと和紙絵を学生自身が企画、材料手配、制作指導までを行い、全員で助け合って作りしました。完成作品は一年から継続している「大樹の産声」と名付けたパネルに展示。



手編みかご&和紙絵

七宝焼アート&ハーバリウム



3年生は「七宝焼き」と「ハーバリウム」の制作を楽しみました。壁に46の数字になるよう七宝焼きを配置し、46期生制作を表現してみました。



貝アート

4年生は貝合わせに使う貝アートの制作。製作する作品は、ダルマ、コスモス、紅葉、桜、椿、お雛様の6種類。平安時代の雅の世界に思いをはせます。

日ごろの成果を動画とコホミンの展示に

長寿大学では、詩吟、カラオケ、社交ダンス、園芸、野外散策、書道、フラダンス、コーラス、俳句、水墨画のクラブ活動が盛んです。大学祭はクラブ活動の成果を発表する大事な場です。舞台での演技、コホミンの展示により、その成果を発表します。Web大学祭では、展示だけではなく、その展示作品に対する思いも伝えることができます。

フラダンス「カイマナヒラ」を踊る

カイマナヒラとは「ダイヤモンドヘッド」のこと。高くそびえるダイヤモンドヘッドを眺めながら、ワイキキビーチに行き海を見ていた。楽しく軽快に踊ります。



詠んだ俳句への思いを伝える

◎星月夜幾光年を欲しいまま 村木栄子
今、私が目にしている星の輝きは何光年か
かって私の目に届いているのでしょうか！ロマンチックな世界に浸り何故だか元気が出てくるのです。

◎水澄みて朽木に走る魚の影 森田尚宏
初秋の旅の湖水で水の中の世界が垣間見え、
何とも自然の素晴らしさを感じました。

展示では伝えられない思いをWeb大学祭の展示ではより詳細に伝えられます。Web大学祭の利点です。

長寿大学について

昭和49年(1974年)に1年制、昭和51年(1976年)から4年制で開設されている我孫子市の公民館学級のひとつ。「つどう場からむすぶ場」に「まなぶからまなびあう」「学習を地域に還元する」という公民館の特性に沿って活動。卒業生は延べ 2000人を超えている。

詳細はネットで検索

我孫子市長寿大学 X

検索



2022年特別号発刊にあたり

本号は大学祭の特集号です。長寿大学で初めて開催されたWeb大学祭。コロナ禍で開催が危ぶまれていた大学祭。新しい形式で大学祭が開催される運びとなりました。

苦勞しながら制作した作品。苦勞も楽しみです。大学祭で発表した長寿大生の日ごろの成果の一端を紹介させていただきます。

編集後記

4学年の広報委員の代表が参加する合同広報委員会。特別号を編集。各学年、大学祭に関する記事を持ち寄り、特別号を編集・制作します。合同広報委員会で長寿大学だよりを編集・制作するのは初めての試みです。

各学年の広報委員の思いを集約して特別号を編集・制作しています。